

パラリンピックのレガシーとは？

イアン氏

大事なものは“インクルーシブ・ソサエティー”

青山氏

障害者の抱える問題を理解するきっかけに



2020年オリンピック・パラリンピック東京大会まで残り2年となった。パラリンピックは障害者にとって住みよい東京をつくるきっかけとなり得るのか。パラリンピックについて研究している英国コベントリー大学リサーチフェローのイアン・プリテン氏と、ロンドン市が策定した長期構想『ロンドンプラン』を翻訳した青山侑元副知事が対談しました。



イアン・プリテン氏

障害者が適応

しにくい環境に

司会 2012年のロンドン大会は過去最高のオリンピック・パラリンピックとして成功したと言われています。その評価についていかがですか。

イアン 自身、過去5大会を見てきたが、スポーツ大会としてのレベルや興奮は確かに素晴らしい。しかし、事前に大会の公約として掲げたものが全て実現したかという点で幾つか問題点があった。

政治的・経済的・歴史的な観点から評価することが出来る。政府や大会組織委員会が大会の前に発表したレガシーには、幾つかできなかったものがある。その中でも私が特にイギリス政府に対して批判的であり続けているのは、経済的な部分だ。大会以降の政府の動きの中で、経済的な不況の

もともと、適応できる人間が生き残っていく方向性を取っていると思う。経済的な変化に対応できるような環境にある人が生活しやすく、障害がある人やハンデイクリップのある人たちが適応しにくい環境になってきている。

司会 ロンドン大会は成功したという国民の評価があります。

イアン 誤解がないように申し上げるが、パラリンピックのロンドン大会に良かったことが一つもなかったわけではない。大会のスタートアップとしての結果は、パラリンピックの選手が活躍しやすくなった。確かに、ロンドン大会は成功したという国民の評価があります。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

事なのは、インクルーシブ・ソサエティー（社会的包容力のある社会）という考え方だ。

青山 2004年にロンドン市が『ロンドンプラン』を策定して、12年五輪を招致すると宣言した。招致する理由の一つに、インクルーシブ・ソサエティーを実現するという理念が大きな柱としてあった。それは特にロンドン東部には移民の低所得者が多く住んでいて、彼らに仕事、教育、雇用機会、交通機関、住宅などを提供するの、ソーシャルインクルージョンである。私は、オックスフォード・ブルックス大学のジョン・ゴールド教授と会ったとき、同教授はアフォードブルハウジング（手頃な価格の住宅）やパブリックハウジング（公的住宅）がオリンピック選手村や会場周辺に結果的に実現しなかったという点は、ソーシャルインクルージョンという理念が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

エスカレーターを上ると段にはまる

青山 日本人はバリアフリーというテーマに関心が高い。駅のエレベーターやエスカレーターを設置するという点については、日本の都市よりも進んでいると、日本人は評価している。点字ブロックの道や施設への設置も進んでいる。しかし、スタジアムや劇場、市民ホールにおける車椅子利用者のための座席数は、日本では圧倒的に少ない。

イアン 地下鉄の駅で、エスカレーターで二つ上った先に次のエスカレーターがなく、階段しかない。これは、エスカレーターで上れない人がいれば、そこで段にかかってしまう。なぜ、こんな作りになっているのか非常に奇妙だ。

司会 東京大会もこのままでは、ロンドンと同様に取り残されてしまう部分がある。東京に対するメッセージを、イアン 一つは、計画づくりに段階から障害者の意見を聞くこと。障害のある当事者が一番必要なソリューションを知っていると思う。二つ目は、たくさん

一つ例を挙げるとして、車椅子の人がレストランでトイレ利用を拒否されたときに、拒否された人が条例違反だと訴えることができるのか。そういった罰則項目があるのかどうか。パラリンピックで立派なスローガン掲げているだけに、出たような話をたくさん議論していくことが、障害者の抱える問題を理解する良い機会になる。

青山 日本のエスカレーターの使用方法を巡って議論がある。日本人は、上りのエスカレーターを自分

の足で上ると、乗ったらくて、本当に大事なことにいくつか絞込んで、それを徹底的にやること。たくさん掲げてどれもうまくいかないというよりは、人々の満足度は高いと思う。掲げているものを絞って入れておけば、モニタリングもそこ集中できる。それに対するトラブルがあってもしっかり対応できる。

司会 都は障害者差別解消法を制定しましたが、その中身は、差別はしてはいけないと理念を掲げているだけだ。

イアン 2020年9月、実際に邪魔だと言われる例が突如飛び出される例がある。私や東京の障害者団体、理学療法士協会などは、駆け上がるの一切禁止すべしとキャンペーンしているが、全く効果がない。いい考えはないか。

イアン 何か分かりやすいきっかけがないとイメージが湧かないのではないかと。パラリンピックと関連付けてキャンペーンを張ってはどうだろうか。

青山 パラリンピックの競技に感動を求めているのはいいが、同時にパラリンピックを機会に日本の中で今日出たような話をたくさん議論していくことが、障害者の抱える問題を理解する良い機会になる。

司会 それが最大のレガシーですね。



青山侑元副知事

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。

招致当時のロンドン市長だったケン・リヴィングストン氏に、「『ロンドンプラン』に書いてあった『ソーシャルインクルージョン』が実現していないという評価をしていました。